

○ 学校経営・運営ビジョンについて

学校経営・運営ビジョンのメインテーマ「地域の未来を創造する人材を育成します」についての認知度は、生徒は 80.9%と昨年度とほぼ同程度で比較的高い認知度でした。保護者は 65.9%の認知で、昨年度より 4.4 ポイント上昇しました。PTA総会が4年間ぶりに開催され、対面で趣旨説明ができたことが起因していると考えられます。ただまだ認知度は高いとは言えないので、今後もさらなる広報活動の充実の必要性を感じました。

1 「学力の向上」に関する取組について

学校生活全般の満足度については、生徒評価では 81.0%がプラス回答をしており、比較的落ち着いた学校生活を送れていると思われます。ただ、家庭学習について、生徒の自己評価では宿題については 43.2%が十分に組み立てていないと回答しており、家で子息が学習していると感じている保護者が約半数であることから、家での学習習慣を定着させるさらなる取り組みが必要と思われます。

ICTを活用した授業については、生徒から昨年度に引き続き高い評価を受けており、質問項目に対して 90%以上の生徒が本校ではICTを活用した授業が実践されていると感じているという結果が得られました。また、教員側においてもICT機器を効果的に活用した授業に取り組んでいるかという質問に対して、100%が当てはまると答えています。

コース・科目の設定は進路希望に合っているかという質問に対しては、本年度より伊達高校として開校し、新入生から新たなコースが設定されましたが、昨年度に引き続き生徒で 91.3%、保護者で 89.4%と結果が良好でしたが、今後さらに高い評価が得られるよう検討していきます。

2 「豊かな人間性の育成」に関する取組について

服装等やあいさつなど生活指導面においては、昨年度に引き続き生徒、保護者ともに高い割合で肯定的な結果が得られています。また、各種特別活動やボランティア活動の取組についても生徒から 86.6%、保護者から 70.0%とおおむね良好な結果を得ています。この点についても、今後とも社会や地域をつなぐ学校としてしっかりと継続して取り組んでいきます。

生徒理解については、よく話を聞いてくれるか、相談しやすいかといった質問に対して、生徒の 86.9%から肯定的な回答を得ています。この点においては、学校として年間に複数回、クラス担任による面接週間を設け、組織的に担当教員を配置し重点的に取り組んでいるところであり、教員側のアンケート結果からもわかるように先生側の意識も高いです。生徒との面接やスクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）との連携など、今後も生徒に寄り添った教育が推進できるよう取り組んでいきます。

3 「進路希望の実現」に関する取組について

進路希望の実現に向けた取組については、生徒に対する進路に関する全てのアンケート項目で 90%以上の肯定的な結果が得られており、特に進路実現のための個別指導や進路講演会等の実施の有効性について、保護者から 80%以上の肯定的な回答を得ています。ただ大学等の上級学校進学への支援体制について、保護者アンケートの結果では他の項目より肯定的評価が 10 ポイント以上低く、本年度より進学キャリアコースを新設していることから、適切な対応が必要と考えられます。今後とも生徒の進路希望実現に向け、保護者を含め生徒への進路情報の提供を行うことで早期の進路意識の高揚を図り、課外授業や面接・小論文指導等の個別指導の充実を図っていきます。

4 「開かれた学校づくり」に関する取組について

伊達地域と連携したさまざまな体験的・探究的な学びの推進について生徒から 92.0%の肯定的な回答を得ており、今後もさらに地域と連携した学びの充実に努めてまいります。

学校からの情報提供等に関する質問事項においては、保護者の肯定的評価が 10.6 ポイント減じており、今後とも学校内外の各種活動について積極的な情報発信の改善や、新たな取り組み（note）の周知に努めます。